

# あけぼのつうしん



No.73

2021年1月27日発行

〔目次〕

■ 注目！notable case ～道内図書館（室）トピックス～

Case 1 地域とともに

- ザ・ラストイヤーイベント 市立室蘭図書館 . . . . . 1p
- YouTube 鹿追町図書館チャンネル . . . . . 2p

Case 2 展示で連携

- 3町合同展示 いまこそよう！につぼんのむかしばなし  
秩父別町・沼田町・北竜町 . . . . . 3p
- 8市町同時開催 ほっかいどう人生100年時代連携展示  
滝川市・足寄町・浦河町・京極町  
様似町・標茶町・新十津川町・新冠町 . . . . . 4p

Case 3 読書週間の行事から . . . . . 7p

■ 市町村活動支援事業レポート

- 海外気分＆“密”にも対応《事業貸出し利用報告》  
厚真町・上士幌町 . . . . . 10p

■ 令和2年度全道図書館専門研修〈サービス（レファレンス）〉報告 . . . 11p

■ 市町村活動支援事業アンケート調査報告（概要版） . . . . . 12p

■ お知らせ

- ① 令和3年度（2021年度）大会・研修会等情報 . . . . . 14p
- ② 2020年秋 読書週間の主な講師等一覧 . . . . . 15p

北海道立図書館



## 注目！ notable case ～道内図書館（室）トピックス～

令和2年（2020年）は未曾有の年となりましたが、コロナに負けない各図書館（室）の今年度の取組を、読書週間の行事とあわせてご紹介します。



### Case 1 地域とともに

地域と共に歩み、その歴史の1ページとも言える建物、そして人物に関する話題です。

- ★ 市立室蘭図書館の竣工は昭和33年（1958年）。後のノーベル賞作家、大江健三郎氏が『飼育』で芥川賞を受賞した年であり、建物では東京タワーと同じ年ということになります。移転を控え、歴史ある建物の“ラストイヤー”に行われているイベントについて、館長の伏見様にご寄稿いただきました。
- ★ そして、鹿追町図書館のYouTubeチャンネル。昨年「没後50年」を迎え、今もなお注目される郷土ゆかりの画家神田日勝の生涯が、読み聞かせ動画となって次の50年へと語り継がれていきます。

## ザ・ラストイヤーイベント 市立室蘭図書館

寄稿 市立室蘭図書館長 伏見 聡



現用館の建物として道内で最も古い本市の図書館は、60年以上の長い歴史に幕を閉じ、今年（令和3年）12月新館へ移転します。

現在建設中の新館は、科学館との合築、子どもからご年配の方まで幅広くご利用いただける施設で、この新館については改めてご紹介させていただきたいと思いますが、今回はその前に、長く愛され利用されてきた現用館が最後の年を迎えるにあたり、現在開催中の「ザ・ラストイヤーイベント」についてご紹介させていただきます。

当イベントは、通年とスポット開催の組み合わせで、市内イベントやボランティア団体等の協力をいただきながら開催しています。

「市立室蘭図書館の軌跡展」は通年開催。コロナ禍で館内の閲覧開始までに時間がかかったため、展示の開始時期が遅れたものの、7月10日よりこれまでの歴史を振り返る写真展を開始し、来館者の方々に思い思いに当時を懐かしんでいただいています。

8月開催の「さよなら図書館 おてがみをかこう！展」は当初児童企画で開催したところ、大人の方々からたくさんの思い出が寄せられたため、期間と対象を拡大しました。80通を超える手紙が寄せられ、現在、館内の壁面に掲示しています。



「さよなら図書館 お手紙ポスト」の展示

## ■ 注目！ notable case

10月2日には「むろらんカルチャーナイト 2020 図書館で文字探しゲームをしよう！」を開催しました。市内で行われるイベントに合わせた企画で、夜の図書館で親子でゲームに参加いただきました。

11月の読書週間には、地域文庫との共催により「みて！きいて！おはなし会+」を、また、3月には初の取り組みとなる「古本市」を開催予定であり、1年を通し様々なイベントで盛り上げ、数々の思い出を共有しながら一時代の歴史に幕を閉じ、そして新たな施設へと繋げていきたいと考えています。

図書館は利用する方々はもとより、読み聞かせや地域文庫をはじめ多くのボランティアの皆さんに支えられ、市民と共につくりあげていく施設であると感じています。

これまで支えていただいた多くの方々に感謝し、また、新たな施設づくりにも参加いただけるよう期待しながら、明るく居心地の良い施設づくりに努めていきたいと思っております。



## YouTube 鹿追町図書館チャンネル

### 没後 50 年『神田日勝の生涯』絵本読み聞かせ

鹿追町図書館では、昨年5月にYouTubeの「鹿追町図書館チャンネル」を開設しました。

まだ公開されている動画数は多くありませんが、読み聞かせやおすすめ本紹介を中心に配信しており、絵本『絵で見る 神田日勝の生涯』の読み聞かせ動画は、数か月で250回以上再生されています。

昨年で没後50年を迎えた北海道を代表する画家・神田日勝は、戦時中、疎開してきた鹿追町で定住し、農業の傍ら多くの作品を遺しました。NHK連続テレビ小説「なつぞら」の主人公・なつの幼馴染みのモデルとなった画家としても注目を集めました。その生涯が描かれた絵本の全文をYouTubeでご覧いただけます。

ほかにも、鹿追町の伝承「白蛇姫舞物語」の紙芝居を上演した動画や、鹿追町図書館の司書による「おうちで楽しめる自然」をテーマとしたブックトークの動画、12月には、ボランティアサークルによるオリジナル人形劇「おおかみ君のクリスマス」なども、公開されました。

今後は図書館の利用方法の紹介なども加え、非来館型サービスの一環としてコンテンツを充実させていく予定です。



## Case2 展示で連携

同じテーマでも図書館（室）ごとに個性のある連携展示をご紹介します。紙上で道内図書館（室）めぐりをお楽しみください。

- ★ 空知管内の3町で行われたのは日本の昔話の展示です。3世代・4世代で集まるのが難しかった今年のお正月。絵本があれば、昔話もお任せあれ。
- ★ そして、今後到来する「人生100年時代」をテーマにした展示イベントは、滝川市立図書館の声掛けで、足寄町・浦河町・京極町・様似町・標茶町・新十津川町・新冠町との8市町連携が実現しました。健康で生き生きと暮らすヒントとなる本が紹介されています。

### 3町合同展示 昔話展示

## 「いまこそよもう！ にっぽんのむかしばなし」

秩父別町・沼田町・北竜町

展示期間 令和2年12月22日～令和3年1月24日

毎年3町（秩父別、沼田、北竜）で連携して、絵本作家を招いて講演会を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で中止になってしまいました。そこで、各町と話し合った結果、今年度は3町合同で日本の昔話の展示を行うことになったのです。

小さいころから読み親しんできた昔話ですが、近頃の子供もあまり昔話を読まない・知らない傾向にあるそうです。そこで、今一度日本の昔話の世界にふれあってもらおうという思いから今回の企画となりました。

展示にあたっては、図書館、こども園、小学校等で読み聞かせや人形劇を披露している布遊具・布絵本製作サークル「ぷちパンプキン」の人形劇『いっすんぼうし』の人形や小道具をお借りし、昔話の世界に奥行きを持たせました。

なお、同様に沼田町図書館では『かさこじぞう』、北竜町図書館では『泣いた赤おに』を「ぷちパンプキン」から人形等をお借りして展示しました。（文：秩父別町図書館）



8市町同時開催

## 「ほっかいどう人生100年時代連携展示」

滝川市・足寄町・浦河町・京極町  
様似町・標茶町・新十津川町・新冠町



◀ 【各展示会場に掲示したインパクトある共通の看板】

- ※①展示期間、展示冊数
- ②展示で工夫したこと、利用者の反応など
- ③連携展示についての感想

昨年、道立図書館の展示資料リスト「人生100年時代（高齢者向けブックリスト）」が道教委ホームページ（生涯学習課）で紹介され、各市町村立図書館等にも配付されました。それをもとに、滝川市立図書館の深村館長が図書館ポータルで呼びかけ、敬老の日にあわせた連携展示が企画されました。

この企画は、展示テーマの切り口を探している時や情報発信をしたい時等に自由に参加できることが魅力で、他の市町村の図書館（室）との連帯感が生まれます。近隣の図書館間での実施例はありますが、連携のタイミングが合わない場合も、単独で参加することができるので心強い企画ともいえます。

参加館に、今後実施したいテーマをお聞きしたところ、わがまち産業PR、子育て世代向け、YA、心の健康、時代小説、独自のコレクション等、様々な提案がありました。



### 足寄町立図書館



- ① 9月1日～30日 67冊  
【内容】人生100年時代ブックリスト、(公社)読書推進運動協議会「敬老の日読書のすすめ」リーフレットから
- ② 本の形に色紙を切り、手書きPOPを設置しました。内容は4つのテーマに絞りました。道内の図書館との連携展示ということを紹介したことで、高齢者層以外の利用者の興味喚起にもつながっていました。高齢者には、自分たちの年齢にあった本がまとめて展示されているので選びやすい、普段気が付かなかったこんな本もあるのだという声もありました。
- ③ 道内の図書館と連携し読書推進に取り組んでいることが伝わりました。

### 浦河町立図書館



- ① 9月2日～29日 50冊
- ② 展示する本はなるべく表紙が見えるように並べ、ぱっと見て手に取りやすいよう工夫しました。連携展示を初めて見たという利用者の方が、こんなことやってるんだ！すごい！と大絶賛してくださいました。
- ③ 展示内容が利用者層と合っていたのでたくさんの人に利用していただけ良かったです。図書館同士の繋がりがあって連携しているということを利用者の方に知っていただく良い機会だったと思います。展示の本は一人で選ぶと偏りがちなので、連携することで幅が広がるのが良いと思います。

## 京極町生涯学習センター湧学館

- ① 9月1日～29日 50～60冊
- ② 高齢者向けの本を中心にしたので、できるだけ表紙を見せて展示しました。  
深村館長からいただいた見出し（前頁写真のもの）のおかげで連携した展示であることがとても分かりやすくなりました。開催中の場所を示した北海道地図に加えて、写真も一緒に展示しました。
- ③ 例年9月は敬老の日に合わせて展示を行っていたこともあり、喜んで参加させていただきました。道立図書館のリストの本はあまり所蔵していなかったのですが、テーマが「イキイキと輝いて生きていく」と幅広かったので本も集めやすかったです。  
「各図書館のイチオシ本」も紹介できると面白いかと思います。

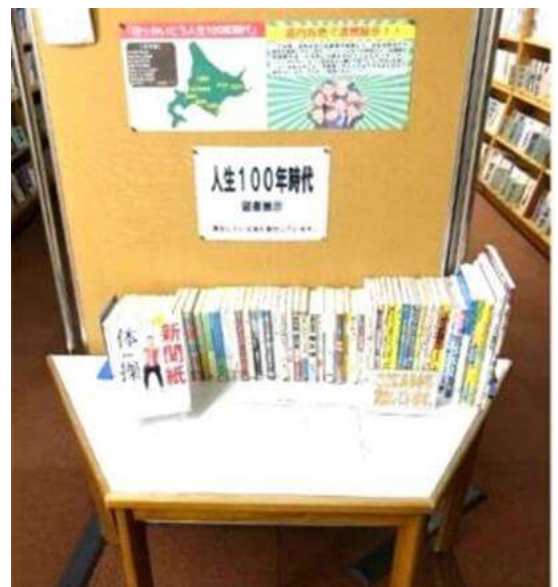


## 町立様似図書館

- ① 8月29日～9月29日（冊数記録なし）
- ② 当館では普段あまり動かない資料（エッセイや医療関係資料等）がよく動いて良かったです。
- ③ 利用者の方へ、場所は離れていても図書館として連携していることをPRできて良かったと思います。  
また、深村館長が情報をとりまとめて共有してくださったおかげで大変勉強になりました。  
※ 地元の新聞社も取材してくださいました。

## 標茶町図書館

- ① 8月29日～10月7日 100冊
- ② リストに掲載の図書のほか、幅広い視点で選書しました。  
小さなスペースでの展示でしたが、貸出数は比較的多かったと思います。
- ③ 毎月のテーマがなかなか決められない時がありますが、今回も次月の展示を考えていたタイミングだったので、とても助かりました。  
同時開催をアピールすることで、展示の見栄えもよくなり、協力・情報共有ができてとても良かったと思います。



## 新十津川町図書館



- ① 8月29日～9月29日 58冊  
【内容】人生100年時代ブックリストから30冊、リスト以外18冊、(公社)読書推進運動協会「敬老の日読書のすすめ」リーフレットから10冊
- ② 入口付近に展示し、手に取りやすいようにしました。高齢の方を中心に興味を示され、借りられていました。
- ③ 各館の展示の様子を見ることができ、参考になりました。

※①展示期間、展示冊数

- ②展示で工夫したこと、利用者の反応など
- ③連携展示についての感想



## 滝川市立図書館

- ① 9月1日～23日 300冊  
(仕掛け人から一言)  
広い北海道、いろんな地域の館が連携し横の繋がりを深められたことは、とても意味のあることだと思います。  
展示に関わらず、今後も協力し合えることを一緒に取り組めたら嬉しいです。

## 新冠町レ・コード館図書フラガ



- ① 9月1日～30日 45冊
- ② おすすめの本を2冊選んでPOPも作成。来館者の目に入りやすいように立体的で色使いのはっきりした看板を作り、新着コーナーの近くの利用者が多く立ち寄り場所へ設置しました。  
50代前後の女性の利用が多かったように感じます。
- ③ 他の図書館の展示の様子等も写真で拝見しましたが、見せ方がそれぞれ違い担当の個性が出て面白かったのではないかと、また、図書館間の横のつながりのアピールにもなり、良かったと感じました。  
自館で展示する際になかなか新しいアイデアが出ないので、全道の司書でいろいろアイデアを共有するなど、今後もお互い協力して図書館運営を活性化していければと思います。



### ■ 道立図書館展示資料リスト「人生100年時代（高齢者向けブックリスト）」

道立図書館ホームページ > 図書館の刊行物 > 展示リスト > 「一般資料」一覧 > 人生100年時代

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/publish/qulnh000000006z0-att/vmlvna000000bjxh.pdf>

## Case3 読書週間の行事から

毎年10月27日から11月9日は読書週間です。（公社）読書推進運動協議会の行事調査で北海道読書推進運動協議会事務局（当館企画支援課内）がとりまとめた各市町村図書館・室等で行われた行事の中から、いくつかをピックアップしてご紹介します。（15ページには主な講師等一覧を掲載しています。）



### （1）馳星周さん直木賞受賞！

●館内展「祝！馳星周さん直木賞受賞！直木賞・芥川賞特集」

浦河町立図書館

●講演会「大好きなものと出会った場所」

函館市中央図書館

浦河町立図書館では、浦河町出身の作家、馳星周さんの作品『少年と犬』が第163回直木賞を受賞したことを祝い、直木賞・芥川賞の由来についてなどのパネル展示、馳星周さんの新聞記事をまとめた資料の展示、直木賞正賞の懐中時計の写真展示などを行い、併せて過去の直木賞・芥川賞受賞作品もまとめて展示、貸出ししました（10/1～11/1）。



浦河町 直木賞正賞の懐中時計



函館市 講演会

また、函館市中央図書館では、馳星周さんの講演会を開催しました（11/5）。「大好きなものと出会った場所」と題した講演では、「一つでも大好きなものが見つければ、人生は豊かになる」という言葉に、来場者の方が熱心に聞き入っていたり、馳先生の軽妙な語り口に、会場が笑いに包まれたりし、大変好評だったそうです。

★馳星周さんに続き、西條奈加さん（池田町出身）が第164回直木賞を受賞されました。おめでとうございます。

### （2）なにを読もうか・・・

●展示「書評を読む」

黒松内町ふれあいの森情報館



黒松内町ふれあいの森情報館（マナヴェール）では、前年度と今年度の読書週間に新聞に掲載された書評と、その中でマナヴェールに所蔵している本の展示を行いました（10/11～11/30）。

展示の前で足を止め、本を手取る人の姿もあり、普段とは違うPRをすることができました。



### (3) 誕生 10 周年！

#### ●今金町文化祭「いまかね絵本原画展」

#### 今金町民センター図書室

今金町民センター図書室では、いまかね絵本『だいすき！だんしゃくくん』の誕生 10 周年を記念し、原画展を開催しました（10/31～11/2）。

そのほか、「オリジナルエコバッグ作り～布用クレヨンでステンシルをしてみよう」と題し、無地のエコバッグに布用クレヨンで絵を描いたりマスキングテープを使って簡単なステンシルをしたりしたオリジナルエコバッグを作るなど、町文化祭に併せて様々な催しを行いました。



カワグチリオさんワークショップ  
（『だいすき！だんしゃくくん』イラストレーター）



オリジナルエコバッグ作り

### (4) 秋は謎解き！

#### ●図書館・博物館クエスト「なぞときハロウィン」

#### 新ひだか町図書館

#### ●図書フェスティバル 謎フェス

#### 厚真町青少年センター図書室

#### ●図書館謎解きイベント

#### 深川市立図書館

#### ●「図書館謎解きツアー なくした記憶と真白の本」

#### 斜里町立図書館



新ひだか町 参加者も仮装で

新ひだか町図書館では、2016 年から本館と三石分館とで会場を交互に、謎解きイベントを実施しています。2020 年は5回目の開催で、本館及び隣接の博物館で実施しました（10/30）。会場内にある問題を全て解いた方には、ハロウィンオリジナルの利用者カードをプレゼントしました。毎年楽しみに集めている参加者もいるそうです。

また、厚真町青少年センター図書室では、図書フェスティバルのイベントとして中学生以上に謎解き（未就学児には昔話クイズ、小学生はなぞなぞ）を実施し、全問正解者に記念品を提供したほか、無料で缶バッジとキーホルダーの工作体験なども行いました（11/3）。

深川市立図書館でも、図書館や蔵書に関するクイズラリーを実施し、オリジナルしおりをプレゼントしました（10/27～11/8）。



厚真町 謎解き

## ■ 注目！ notable case



斜里町立図書館では、小学3年生から一般を対象にした謎解きイベントを行いました。約1年前から構想を練った大がかりな企画で、2日間かけて解いた方もいたほど。「ぜひまたやってほしい」との声があったそうです。クリアした方には、オリジナル図書館カレンダーがプレゼントされました(10/3～4、10～11)。

斜里町 構想・企画に約1年！

### (5) 旅に行きたい…!!

- 「本で Go To トラベルー本で旅行気分ー」 湧別町中湧別図書館
- 館内展示「行った気になれる『Go To』特集」 本別町図書館
- スタンプラリー「えほんでせかいっしゅうりょこう」 江別市情報図書館
- 文学史跡めぐり「近くへ行きたい。」 八雲町立図書館×八雲町郷土資料館

2020年、コロナ禍により思うように外出ができない期間が続きましたが、そんなときでも、本の世界では自由に旅ができます！これまでも「旅」をテーマにした資料展示は目にすることはありましたが、この秋は格別な想いで企画されたのではないのでしょうか。

湧別町中湧別図書館では、道内179市町村のパンフレットを集めた「北海道」や、図書や旅雑誌を併せて紹介した「国内」、きれいな写真集などの「世界」等のコーナーに分けた展示「本で旅行気分」を行いました(10/27～11/22)。

本別町図書館でも、「本の中ならどこでも行ける！」をテーマに、旅行ガイドから異世界ファンタジーまで館内に図書を展示しました(10/15～11/28)。

子ども向けに企画したのは江別市情報図書館です。「えほんでせかいっしゅうりょこう」のタイトルで、館内6か所に置かれた様々な国の絵本を読んで、パスポート型の台紙にシールを集めるスタンプラリーを実施。シールを全部集めるとプレゼントがもらえました(11/3～8)。



湧別町「本でGoToトラベル」



江別市  
「えほんでせかいっしゅうりょこう」

八雲町「文学史跡めぐり」

また、八雲町立図書館では、毎年7月に町外の文学史跡めぐりを行っていましたが、2020年はコロナ禍により実施を悩み、いっそ町内再発見の旅を！と、郷土資料館と連携し、今回の企画に至りました。当日はバスで芥川賞作家・鶴田知也氏の石碑や、町内の見所スポットをめぐり、図書館職員や学芸員による解説で町内の歴史や文化を堪能しました(10/22)。

## 海外気分 & “密” にも対応 《事業貸出し利用報告》



春のこどもの読書週間の時期に感染症対策による図書館（室）や学校の休館・休校が相次ぎ、たくさんのイベントが中止になったことで、今年度の上半期は事業貸出し用資料をご利用いただく機会はほとんどありませんでした。

そのような事情もあってか、秋には貸出しのご希望が多くあり、小規模ながらも様々なイベントが開催されました。その一部をピックアップしてご報告します。

### ① 英語教育推進事業 厚真町青少年センター図書室

- ・利用資料：外国語絵本 20冊
- ・対象：小学生
- ・利用報告から

厚真町立上厚真小学校、厚真町立中央小学校で利用しました。校内に展示スペースを設け、図工で扱った「そうのエルマー」の英語版を ALT の読み聞かせで楽しむなど、英語への興味関心を高めるよい機会となりました。



#### おすすめ!

道立図書館では事業貸出用として**外国語絵本**を所蔵しています。英語はもちろん、中国語、韓国語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語の資料がありますが、大型絵本やエプロンシアターに比べると利用申込みの少ない資料です。

絵本を通して様々な国に触れることができ、なかなか海外との行き来ができない今だからこそ活用の機会かもしれません。貸出しの申込みをお待ちしています。

### ② お話会 上士幌町図書館

- ・利用資料：大型絵本、エプロンシアター 9点
- ・対象：小学校、学童保育の児童など
- ・利用報告から

大型絵本のほかにエプロンシアター「3びきのやぎのガラガラドン」を使用しました。エプロンシアターを利用したお話会をするのは初めてで、低学年の子どもたちがとても楽しんでくれました。



#### おすすめ!

感染症対策のため、おはなし会の際にも普段より広い部屋を使う、子どもたちと距離をとるなど、各図書館・図書室で様々な工夫をされていることと思います。

**大型絵本**は本から離れていても絵がよく見えるので、こんな時の読み聞かせにぴったりです。ぜひご活用ください。

## 令和2年度 全道図書館専門研修〈サービス(レファレンス)〉報告

12月10日、11日に行われた本研修は、コロナ禍の影響により、Zoomによる研修に急ぎょ変更し、46名に受講いただきました。



本研修では、テーマを「市民の暮らしの知りたい！に答えるために図書館ができること」として、人生100年時代を迎えて、住民の需要が今後増えると予想される事項や課題解決サービスを取り上げ、様々なアプローチ方法を学ぶ中で、図書館員が自館でできることを考える機会とすることをねらいとしました。

1日目の講義「ファミリーヒストリーの調べ方」では、系図研究家の岸本良信様から、アメリカでは趣味としてルーツ調べをする人が増えていること、家系調査に必要なものは、人・物・紙であり、図書館員が情報提供できるものは紙の部分であるとして、海外を含めた有用なウェブサイトや文献での調査方法について解説していただきました【写真1】。



【写真1】

続いて、講義「医療・健康情報のレファレンスと課題解決支援」では、北海道大学附属図書館（保健科学研究所）の川村路代様から、情報の扱い方やレファレンスインタビュー、情報リテラシーなど、図書館員に役立つ資料をご紹介します。



【写真2】

2日目、道立文書館石川淳様の講義「文書館の資料で探す我が家のルーツ」では、1日目に岸本様から紹介のあった所蔵資料を詳しく、実際の検索方法までご説明いただきました【写真2】。

次に、札幌市図書・情報館の草階彩香様の講義「『はたらくをらくにする』図書館」では、ツール紹介に加え、レファレンス環境としても大事な棚づくりの工夫についてご紹介いただきました。

最後に、当館一般資料サービス課藤田さやかの情報提供「まちづくりにつながる行政支援サービス」では、現在の需要の有無にかかわらず、行政支援サービスは「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」でも明記されている重要なサービスであるとして事例の紹介を行いました。

講師 運営者とカメラ



配信画面

【写真3】

「ファミリーヒストリーの調べ方」は、PCにつなげたビデオカメラで講師を撮影して配信しました【写真3】。撮影に使用した狭い会議室では（床は配線だらけでお見せできませんが）、運営者2名が張り付き、講義中に映像・音声トラブルがあった図書館とは、チャットにより直接やり取りを行っていました。

今回は皆様の短期間での機器の調達やご協力により、初めてのZoom研修を無事終了することができました。ありがとうございました。



## ■市町村活動支援事業アンケート調査報告

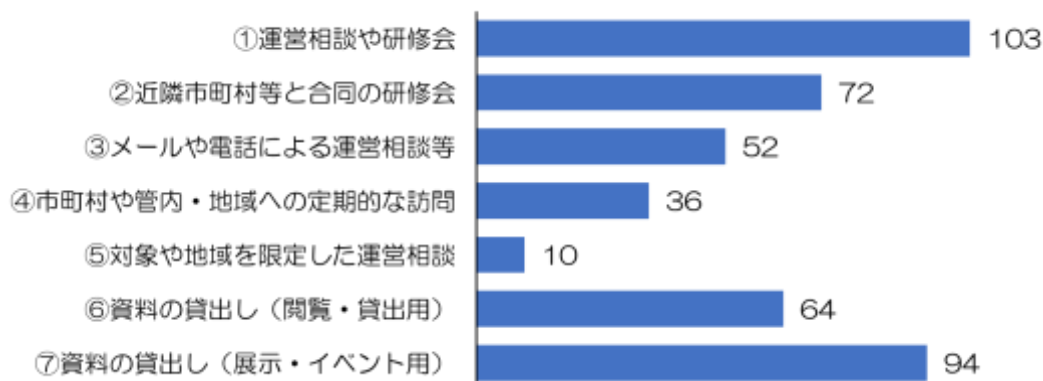
市町村活動支援事業アンケートに、ご協力ありがとうございました。市町村の図書館（室）のみなさんにご回答いただいた調査結果の概要をご紹介します。

### 令和2年度（2020年度）市町村活動支援事業の利用等について —アンケート調査報告（概要版）—

- ・照会日 令和2年（2020年）12月1日（回答期限 令和2年12月18日）
- ・照会方法 メール又はファクシミリで送付及び回収
- ・調査対象 道内178市町村（札幌市を除く）
- ・回答数 178（回収率100%）

#### 1 利用を希望する市町村活動支援事業について

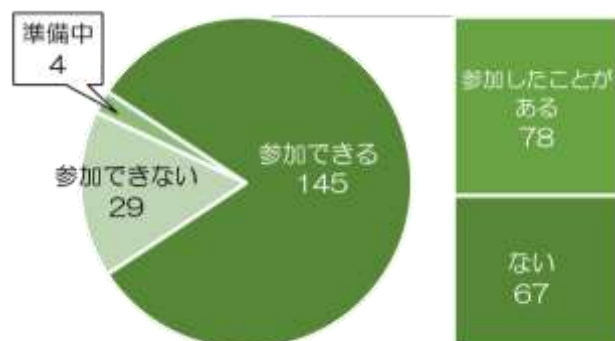
【実施を希望する、または利用してみたい事業（Q2）】（回答数178、複数回答可）



半数以上の市町村から、「①運営相談や研修会」、「⑦資料の貸出し（展示・イベント用）」への希望の声をいただきました。「②合同の研修会」とともに、今後もそれぞれのニーズに合わせたアドバイスや情報提供ができるよう努めてまいります。また、貸出し用資料の選書にあたっては、ご意見を参考にさせていただきます。来年度は、事業貸出し用に新規セットを準備中です。

なお、展示・イベント用資料や学校の授業支援・調べ学習用資料の貸出しには、「展示貸出し（一般資料サービス課・北方資料サービス課）」や「学校図書館協力貸出し（企画支援課）」もぜひご利用ください。

#### 2 オンライン研修について



Web会議システムを用いたオンライン研修については、およそ8割の市町村から「参加できる」との回答をいただきましたが、その利用環境は様々で、まだ不自由も多いようです。

コロナ禍が続く中、研修の機会を希望する声にお応えできる方法を検討してまいります。

### 3 市町村活動支援事業へのご意見・ご要望から

多くのご意見をいただき、ありがとうございます。来年度以降の事業の参考にします。今後も、率直なご意見をお寄せください。

意見・要望	道立図書館から
<p>【研修会】 新型コロナウイルス対策としてだけでなく、通常でもオンライン参加が可能となると受講しやすいです。</p>	<p>アンケートでも、研修会の開催を希望する声を多くいただきました。新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえて、研修の開催方法や内容についてもその都度、対応してまいります。</p>
<p>【研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア向けの研修会を希望しています。</li> <li>・小中高の図書担当教諭に、運営に役立つ情報提供をしたいです。</li> </ul>	<p>ボランティア向けには「<b>運営相談</b>」*で、学校図書館担当の方向けには「<b>学校図書館運営相談</b>」でも対応しています。まずは企画支援課にご相談ください。 ※「運営相談」は、「相互協力促進事業」と一緒になった新たな事業として令和3年度に再編予定です。</p>
<p>【学校ブックフェスティバル】 コロナ禍の中、今後どのような形になるのか、不安に感じています。</p>	<p>今年度は残念ながら中止となった市町村もありましたが、「密」を避けて実施された例については、随時ご紹介していきたいと思えます。 なお、<b>令和3年度は感染症対策として、集合しなくても開催できるフェスティバル</b>（資料貸出し等）も予定しています。</p>
<p>【学校図書館サポートボックス】 コンテナは、市町村の図書館（室）ではなく、学校に直接送ってほしいです。</p>	<p>申込書に「<b>希望送付先</b>」を記入する欄を設けていますので、そこで学校をご指定ください。 大量一括貸出しや事業貸出しも、申込者と異なる送付先をご指定いただけるようにしています。返送料の負担などをご確認の上、ご利用ください。</p>
<p>【資料の貸出し】 希望するセット内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年向けおすすめセット</li> <li>・国語の教科書に載っている本</li> <li>・環境問題</li> <li>・鮭について</li> </ul>	<p>事業貸出し用に「<b>SDGs セット</b>」「<b>防災・防犯セット</b>」「<b>アイヌ文化を調べるセット</b>」が増えます。 また、学校図書館サポートボックスの「<b>授業お役立ちセット</b>」は、小学校国語の教科書で紹介されている本を3～6年生の<b>学年別コンテナ</b>でお届けします。 ぜひお申込みください。</p>

### 4 その他

意見・要望	道立図書館から
<p>さまざまな市町村の活動について、情報提供してほしいです。 新型コロナウイルスの影響で例年とは違うので…。</p>	<p>緊急性のある情報はもちろん、日常の活動についてもあけぼのつうしんや図書館ポータルなどを使い、引き続き幅広い情報提供に努めます。 どんな些細なことでも結構です。皆さんも<b>我が街のトピックを全道に紹介</b>しませんか？ 市町村の皆様からの、<b>積極的な情報提供をお待ちしています！</b></p>



## ■ お知らせ

### ① 令和3年度（2021年度）大会・研修会等情報

令和3年度に実施予定の図書館に関係する大会や研修事業等を一覧にしました。  
研修等参加の参考情報としてご活用ください。

（北海道図書館振興協議会主催事業は、4月23日の理事会・総会を経て決定となります。）



実施日	主催機関・団体	事業名	開催地（会場）
4月23日	北海道図書館振興協議会	北海道図書館振興協議会総会（講話）	札幌市（札幌市中央図書館）
6月10日～11日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館新任職員研修会	江別市（道立図書館）
6月予定	北日本図書館連盟	北日本図書館大会	福島県
7月8日～9日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館中堅職員研修会	江別市（道立図書館）
9月予定	北海道図書館連絡会議、道立図書館	北海道図書館大会	札幌市（札幌市教育文化会館）
10月予定	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修<サービス（地域資料）>	八雲町
11月9日～11日	図書館総合展運営委員会	図書館総合展	形式について検討中
11月11日～12日	日本図書館協会	全国図書館大会（オンライン）	山梨県
11月20日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館長会議（講話）	札幌市（札幌市中央図書館）
11月25日～26日	日本図書館協会、北日本図書館連盟	全国公共図書館研究集会（児童青少年部門）/ 北日本図書館連盟研究協議会	岩手県盛岡市（いわて県民情報交流センター）
11月予定	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修<経営（企画・広報）>	名寄市
12月9日～10日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修<子ども読書（地域支援）>	江別市（道立図書館）
12月予定	文部科学省、青森県立図書館	図書館地区別（北日本）研修会	青森県
1月14日	北海道図書館振興協議会、道立図書館	全道図書館専門研修<経営（関係法規）>	江別市（道立図書館）
1月予定	北海道学校図書館協会	北海道学校図書館研修講座	札幌市

研修についての情報は、次のサイトもご参照ください。

■日本図書館協会 > JLA主催行事

<http://www.jla.or.jp/jlaevent/tabid/93/Default.aspx>

■国立国会図書館 > 図書館員の方へ > 図書館員の研修 ※遠隔研修など

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/index.html>

北日本以外の全国各地域で行われる図書館地区別研修等がオンライン開催となった場合については、情報が入りましたらお知らせいたします。

## ② 2020 年秋 読書週間の主な講師等一覧

「2020・第74回読書週間行事」調査回答をもとに、主な講師一覧を作成しました。  
 残念ながら、今年度は予定していたイベント等が中止・延期となった  
 図書館（室）もありました。来年度の企画時の参考情報としてご活用く  
 ださい。（敬称略）



### (1) 講演・講座・ワークショップ

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
1	あべ 弘士 (絵本作家)	あべ弘士さんとどうぶつを作ろう ～サルの仮面づくり～	京極町	10/17
		あべ弘士さんとダンボールでキリンをつくろう	剣淵町	11/14
2	五十嵐 いおり (フリーアナウンサー)	子ども向けワークショップ「詩であそぼ」	むかわ町	10/24
3	植木 祐子 (絵本セラピスト) (元幼稚園教諭) (臨床発達心理士)	おはなし会 「子育てと絵本～我が子への大好きの伝え方♡」	剣淵町	11/7
4	加藤 休ミ (クレヨン画家) (絵本作家)	講演会・読み聞かせ クレヨン画家 加藤休ミの絵描きの一席 ～絵描きになってからの、お話と絵本読み～	釧路市	11/1
		ワークショップ「魚の骨に身をつけよう！」	厚岸町	10/31
		クレヨン画家・絵本作家 加藤休ミワークショップ 「クレヨンで、魚のほねにみをつけよう！」	標茶町	11/3
5	カワグチリオ (イラストレーター)	オリジナルエコバッグ作り ～布用クレヨンで、ステンシルをしてみよう	今金町	10/11
6	こぐれけいすけ (絵本作家)	こぐれけいすけスペシャル 絵本ライブ&工作会	小樽市	10/24
7	小坂 博宣 (アイヌ文化活動 アドバイザー)	郷土資料講座 「知里幸恵・真志保・金成マツとその著作」	登別市	11/3
8	佐藤 国男 (版画家)	幻灯朗読会 猫と賢治と妹と 対談「妹から見た宮澤賢治」 ●同時開催：やくも朗読サークル 朗読	八雲町	10/10
9	馳 星周 (小説家)	講演会「大好きなものに出会った場所」	函館市	11/5
10	福島 憲成 (函館大谷短期大学学長) (真宗大谷派専念寺住職)	古典の日朗読会 講演「声で聴く源氏物語～千年 の時を超え、煌めく恋～」 ●同時開催：函館朗読奉仕会 朗読	函館市	11/2
11	古市 憲寿 (社会学者)	講演会（Zoom上で開催） 「古市憲寿ウェブトーク 私たちに必要な文学 のはなし」	北見市	11/14
12	松浦 亜矢 (整理収納アドバイザー)	大人の図書館講座「家じまい講座」	新十津川町	11/15

(2) 人形劇・読み聞かせ等

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
13	旭川おはなしの会	大人の読み聞かせ 「アナンシと五」「千葉わらい」など	東神楽町	10/28
14	小樽子ども劇場人形劇サークル ぐうちよきばあ	人形劇	小樽市	10/24
15	オホーツク風雲ワクワク団 <sup>エヌ</sup> (名寄市立大教授 今野道裕)	手あそび、人形劇、パネルシアター、 腹話術など	中川町	10/24
16	語り・ひとり芝居ぐるーぷ うるうる亭	大人のおはなし会 (朗読・人形劇・紙芝居など)	江別市	11/8
17	シアターとんとん			
18	上富良野高校 『泥流地帯』映画化応援隊	小説『泥流地帯』の朗読劇	上富良野町	10/3
19	劇団バク	等身大人形劇「手ぶくろをかいに」	根室市	11/21
20	人形劇サークル ととり	人形劇・手芸オペレッタ	東神楽町	10/24
21	人形劇サークル ぱべっとくれよん	ボードビル、手品	池田町	10/31
22	人形劇団たんぽぽ	人形劇	大空町	11/3
23	人形劇団ブランコ	人形劇	八雲町	10/11
24	ふらの・ ものがたり文化の会	絵本読み聞かせ	中富良野町	10/10 10/11



(3) 音楽・アート

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
25	アッキー (マジシャン)	マジックショー	黒松内町	10/3
26	かっしー (マジックバルーン アーティスト)	マジック&バルーンアートショー	更別村	10/24
27	更科 理恵 (ハーピスト)	特別演奏会 (ハープ演奏)	今金町	11/8
28	ひのき屋 わくわく音楽隊	音楽オンステージ	今金町	11/8
29	フェアリーテイル	ストリートダンス	今金町	11/8
30	読み語りユニット よみしばいわおん & 瀬野 朋恵 (ピアニスト)	絵本とピアノライブ	比布町	10/31

- ・各事業の詳細については、実施市町村へお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- ・読書週間調査は、毎年、春と秋に各市町村にご協力いただき、北海道読書推進運動協議会事務局で集約し、公益社団法人読書推進運動協議会へ提出しているものです（今回は、主に10～11月に実施された行事を対象にしています）。



初めて「新型コロナウイルス」という言葉を聞いてから、約1年が過ぎようとしています。未知の病気、天災や事件など、想像を超える出来事が起こったときには、「まるで今を予想したかのような本」や「昔の出来事の教訓を語る本」というものが、必ずと言っていいほど見つけ出され、脚光を浴びるような気がします。医学や科学が進歩しても、遠い過去に学ぶことは多いようです。

この1年の私たちの混乱と戸惑いと工夫が、記録や記憶となって未来の人たちの役に立ちますように。いや…、役に立つようなことが起きては困るのか！？

新しい年、2021年もどうぞよろしく願いいたします。

みなさんの図書館（室）の活動の情報をお寄せください。好評だった事業、新しく始めた取組など、随時受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想もお待ちしています。

→ [shienka@library.pref.hokkaido.jp](mailto:shienka@library.pref.hokkaido.jp)



## あけぼのつうしん No. 73

発行日 令和3年(2021年)1月27日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>